

AIMI KOBAYASHI PIANO RECITAL



© Darek Golik / Chopin Institute

小林愛実(ピアノ) Aimi Kobayashi, Pianist

3歳からピアノを始め7歳でオーケストラと共演、9歳で国際デビューを果たす。2005年(9歳)以降、ニューヨーク・カーネギーホールに4度出演、パリ、モスクワ、ポーランド、ブラジル等に招かれ、スピヴェコフ指揮モスクワ・ヴィルトゥオーゾ、ブリュッヘン指揮18世紀オーケストラ、ジャッド指揮ブラジル響等と共演。ポーランドには、「ショパンとヨーロッパ」国際音楽祭ほか、協奏曲のソリストとして度々招かれている。

国内でも多数のオーケストラと共演し、サントリーホールをはじめ各地でもリサイタルを行い、高い評価を得る。



© Makoto Nakagawa

2010年(14歳)「デビュー!」でCDメジャーデビュー、翌年セカンドアルバム「熱情」をリリース(EMI CLASSICS)。また、同年ショパン生誕200年記念に際して、ポーランド政府より「ショパン・パスポート」を授与された。

2015年(20歳)10月、「第17回ショパン国際ピアノコンクール」に出場、ファイナリスト。2017年7月には、モスクワ・フィルの日本ツアーでソリストとして迎えられ、ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を共演した。

2020年3月には、チューリヒ・トーンハレ管とリストのピアノ協奏曲第1番を共演して好評を博した。

幼少期より多くのメディアから注目を集め、フランスのLCIテレビのドキュメンタリー、日本テレビ「深夜の音楽会」、テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-BS「みんなのショパン」、NHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」など多数のテレビやラジオ番組にも出演。2015年にはTBS「情熱大陸」にも登場し話題を呼んだ。2018年ワーナー・クラシックスとのインターナショナル契約を発表。4月には7年ぶりとなるCD「ニュー・ステージ〜リスト&ショパンを弾く」をリリース。8月には、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭に出演し絶賛された。

2021年8月25日に、ワーナー・クラシックスより最新CD「ショパン:前奏曲集 他」が発売される。第18回ショパン国際ピアノコンクール、ファイナリスト。

1995年山口県宇部市生まれ。8歳より二宮裕子氏に師事し、2011年桐朋学園大学附属高校音楽科に全額奨学金特待生として入学。2013年よりフィラデルフィア・カーティス音楽院に留学。現在、マンチェ・リュウ教授に師事し研鑽を積んでいる。

今、世界的な活躍が期待できる日本の若手ピアニストとして注目を集めている。

レコード芸術誌特選盤

小林愛実

ショパン:前奏曲集 他

- 24の前奏曲op.28 ●前奏曲嬰ハ短調op.45
- 前奏曲変イ長調(遺作)
- 幻想ポロネーズ変イ長調op.61
- 幻想即興曲op.66

[CD&SACD] ワーナー・クラシックス WPCS138361
¥3,300 (税込)
【録音】2021年4月3-5日新潟県魚沼市小出郷文化会館